

第6回小松空港中期ビジョン策定検討委員会 議事概要

日時：令和7年1月15日（水） 10：00～11：30

場所：石川県行政庁舎1110会議室

事務局からの資料説明後、以下の意見交換がなされた。

○空港運営の民営化について

- 民間運営の形は様々あるが、航空系事業を持たない場合、路線誘致や誘客にあたり、県も民間と一緒に頑張っていくという姿勢を見せるのが一つのやり方ではないか。
- 空港民営化の形態は色々あり、運営範囲の切り分けは何とでもなる。大事なのは、民間に運営を引き受けてもらうためにはどうすればよいかという点。民間が力を発揮してもらえるような環境づくりが大切。
- 民営化が出来るか出来ないかをはっきりしないと具体の議論に入れない。民営化を引き受ける事業者があるかどうかを早く見極めるべき
- コンセッションや空港施設の民間運営に際しては、県をはじめ地元側が、地域の求めるものをしっかりと民間側に提示すべき

○ターミナルビルについて

- ビルはコンパクトな形がよいかとも思う。観光の視点からすると、観光の拠点としての機能を備えるようにすれば良いのではないか。
- ビルの運営は、民間が参入しやすい体制を作るべき。老朽化した行政機関が入居することが、運営の安定化にも資するのではないか。
- ビルを単に建て替えるだけでなく、これを機会に賑わいの拠点となるよう取り組んでいかなければならない。街づくりの観点を持つべき。

○アリーナとの連携について

- 小松はスポーツ面での交流が盛ん。アリーナを大いに活用することが重要

○基地との連携について

- インバウンドの増大が見込まれる中、防衛省や小松基地とはさらに連携を深めていくべき。

○利用促進、その他

- 上位計画である県の成長戦略との整合性は重要。

- 欧米からの観光客が羽田経由で小松に来るような仕組みを作ることが大事。外国人観光客は何度も日本を訪れることで目が肥えてきて、北陸に目を向けるようになってくるので、そこを捉えてPRしていくことが重要。

以 上

※この議事概要は未定稿です。